

Special Needs Education Research Center

## SNERC通信

(第46号－2017年9月)

国立大学法人 筑波大学  
特別支援教育研究センター  
センター長：岡 典子

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

TEL&amp;FAX：03-3942-6923

HP： <http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>mail： [snerc@human.tsukuba.ac.jp](mailto:snerc@human.tsukuba.ac.jp)

## ■巻頭言 「心に刻まれている詩」

筑波大学特別支援教育研究センター 左藤 敦子

設立から10年を超えて、特別支援教育研究センターの存在の意義が問われています。10年を一区切りと考えれば、組織のあり方や実施している事業の意義を振り返る時期なのかとも思っています。附属5校の協働で作成された「教材・指導法データベース」、国際教育協力事業として実施してきた海外研修員に向けた教員研修、国内の教員に向けての研修コンテンツの配信など…、個人的には、複数の附属学校が集まりあつた議論を交わした連携研究や、現職教員研修生としていらっしゃった先生と一緒に、学校のことや子どものことを肌で感じながら研修報告をまとめたことはとても有意義な時間だったと感じています。そんなことを思い出していたところ、10周年記念の際に耳にした詩がふっと頭に思い浮かび、頭から離れません。10周年記念の報告の際にボローニアの原稿でもご紹介した詩です。



『優劣のかなたに』 大村はま

優か劣か  
そんなことが話題になる、  
そんなすき間のない  
つきつめた姿。  
持てるものを  
持たせられたものを  
出し切り  
生かし切っている、  
そんな姿こそ。

優か劣か、  
自分はいわゆるできる子なのか  
できない子なのか、  
そんなことを  
教師も子どもも  
しばし忘れて、  
学びひたり  
教えひたっている、  
そんな世界を  
見つめてきた。

【以下、省略】

紙面の都合から、冒頭部分のみをご紹介しました。直接、特別支援教育研究センターの振り返りとは関連がないのですが、ふと思い浮かんだ詩は、子どもたちと真摯に向き合う姿勢とはなにか、振り返って考える時期であることを、もっと大切にするようにと、私に教えてくれているように思っています。

## ■ 5 附属連絡会議 & 教材・指導法データベース学習会より

今年度も、月に1回5附属連絡会議と教材・指導法データベース学習会を行っています。

昨年度の各附属を会場とした学習会では、他の附属で用いられている教材を知ることだけでなく、自校内でも「うちの学校にこんな教材があったんだ」など色々な発見がありました。

今年度、第1回の学習会は、附属視覚の教材を持ち寄っていただきました。全体を把握することが難しい大きな建物の構造を触れてとらえる模型や音声ペンの活用、脳活玉入れゲーム（どんな教材だと思いますか？詳しくはデータベースを参照ください。）など、沢山の教材を紹介していただきました。

データベースは、5附属の先生方と連携しながら、今年度も見やすさ、使いやすさの観点で改善を行っています。

（動画容量を増やす、写真拡大など）新しい教材も掲載しています。ご活用下さい。



データベースの教材を紹介したパンフレットを作りました。  
センターHP からご覧ください。

## ■平成29年度筑波大学免許法認定公開講座 報告

平成29年度筑波大学免許法認定公開講座が、7月24日（月）から8月4日（金）の12日間、筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催され、特別支援学校教諭免許状の取得を目指す現職の先生方が、全国から延べ459名受講されました。本公開講座には、大学や附属特別支援学校から49名の先生方を講師としてお迎えし、特別支援教育の理論や実践に基づく内容を、映像や教材などを用いて熱心に分かりやすくご講義頂きました。受講された先生方からは、専門的な内容を興味深く学べたこと、講義いただいた事柄をこれからの教育実践に生かしたいことなどが意見や感想として多く聞かれました。また、先生方の中には、過去にもこの公開講座を受講された方が多くいらっしゃり、来年も単位取得のため是非受講したいという声も聞かれ、この講座に対するニーズの高さがうかがわれました。講座の運営に対しては、補助員として各附属特別支援学校からたくさんの先生方にご協力いただきました。受付の業務、講義会場の準備や後片付けに加え、受講された先生方への対応も丁寧に行っていただきました。おかげさまで、スムーズな講座運営ができました。ありがとうございました。



## ■附属ニュース（附属視覚特別支援学校）

「ニュース時事能力検定」を実施しました

中高等部社会科

丹治 達義

9月2日、本校の主に高等部生徒を対象に「ニュース時事能力検定」を実施しました。この検定は、「新聞やテレビのニュース報道を読み解くための「時事力」を認定するもので、『時事問題』の理解に欠かせないキーワードや、社会の仕組みと流れについての知識を6段階に分けて測定する唯一の検定試験」（協会サイトより）です。本校では5年ほど前から、中学校卒業程度の「3級」と、高校在学程度の「準2級」を準会場として実施しています。点字使用生徒の場合は、現在のところ点字の受験ではなく「問題読み上げ」による受験（試験時間は読み上げ終了まで）となり、また拡大文字生徒は一定の範囲の中から生徒が適切な文字サイズを選択する形（試験時間は約1.5倍の70分）となっています。今回特に「問題読み上げ」は表やグラフなどの数値を多く読み上げる必要があったため、全体で2時間以上（本来の試験の2.5倍程度）となり、受験した生徒にも疲れがみられ、私たちも点字での受験が可能になることを強く希望しています。「時事力」をつけることは社会科学習の基本でもあり、今後も継続的に実施したいと考えています。



## ■附属ニュース（附属久里浜特別支援学校）

アメリカTEACCHセンターでの研修



ディスカッションの様子

平成29年8月6日～14日、ノースカロライナ州ウィルミントンTEACCHセンターで、幼稚部、小学部、寄宿舎の教職員8人が研修のために渡米した。

本校の教育実践の現状と課題から、学びたいことを事前に要望し、研修内容を決定した。主な内容は、自閉症の理解、アセスメント、幼児との関わり方、早期の家庭生活支援、地域の小学校について、また、自閉症の大人の地域生活など、講義や演習、見学を通して学んだ。一人一人の教職員が課題意識をもち、意見を伝えたり、質問をしたりして、その現場でしか見ることや聴くことができないことをしっかり感じ取るように努めた。今後、学んだことを学校全体で共有し、教育に活かす具体的な方策を講じていきたい。



自閉症の青年との夕食会

## ■附属行事予定（9月～12月）

9月23日（土） 聴覚・体育祭  
9月29日（金） 久里浜・開校記念日  
10月7日（土） 視覚・幼小運動会  
10月21日（土） 久里浜・運動会

10月28日（土）～29日（日） 視覚・文化祭  
11月2日（木）～3日（金） 聴覚・文化祭  
11月3日（金）～4日（土） 桐が丘・桐が丘祭  
11月18日（土） 大塚・大塚祭  
12月22日（日） 視覚・創立記念日

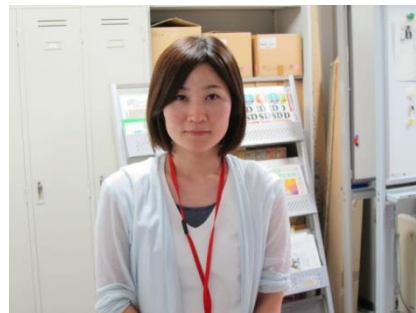


## ■研修生日記

研修が始まって半年が経とうとしています。9月14日には研修成果中間報告会が行われました。日々、研究や研修に取り組んでいる研修生に原稿を寄せてもらいました。

### 静岡視覚特別支援学校 桑田園子

現職教員研修生としてお世話になり、半年が過ぎようとしています。静岡からの新幹線通勤にも慣れ、文献を読んだり原稿を作成したり、上手に時間を使えるようになってきました。特別支援研究センターの講義・演習では質の高い内容に自分自身の勉強不足を反省することが多々あります。しかし、じっくり学び、取り戻すチャンスをいただけたと思って必死についていきたいと思います。私自身の研究では、視覚障害と知的障害を併せ有する児童への概念形成を促す指導を行い、手指運動の変容を分析し、教材を活用した学習支援の効果について明らかにしたいと考えています。研究するにあたって、筑波大学附属視覚特別支援学校の先生方や筑波大学の佐島毅先生、佐島研究室の学生達にご指導やご協力をいただいています。子ども達の学びや豊かな生活のために努力をおしまない魅力的な人々との出会いに感謝しながら、残りの期間を大事にして、研鑽に努めてまいりたいと思います。



## ■9月セミナーのご案内

今回のセミナーは、筑波大学附属特別支援学校で長年教鞭をとってこられた先輩の先生方3名をお招きし、これまでの実践を基にお話しいたします。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日 時 平成29年9月30日（土） 13:30～16:30
2. 場 所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 134講義室
3. テーマ シリーズ特別支援教育の伸展（8）  
—指導法の豊かさを願って：先輩からのエールⅡ—
4. 講 師 高村 明良先生 全国高等学校長協会入試点訳事業部専務理事  
元筑波大学附属視覚特別支援学校教諭  
瀬戸口裕二先生 名寄市立大学教授  
元筑波大学附属久里浜特別支援学校教諭  
長田 実先生 元倉敷市立短期大学教授  
元筑波大学附属桐が丘特別支援学校教諭
5. 参 加 事前にお申し込みをお願いします。

E-mail : [snerc@human.tukusba.ac.jp](mailto:snerc@human.tukusba.ac.jp)

電話 : 03-3942-6923

